

グループ会社における22春闘も厳しい結果に!

悔しいベアゼロ回答に怒り!!

要求実現に向け意見を出し合い、 次のたたかいへつなげよう!

バス関東本部

3月30日、会社回答受けるも席上妥結せず!!
組織内での議論を経て4月1日、苦渋の決断で妥結!!

- ・定期昇給 (2022年4月1日現在、満55歳未満の社員)
定期昇給を実施し、その際の昇給額は協約第158条に定める所定昇給額、及び協定第22条に定める昇給基礎額とする。2022年度中に満55歳に達する社員については、満55歳に達する日の属する月の翌月1日以降の基礎給額に6,000円を加える。
- ・精算 2022年6月24日(金)以降、準備でき次第

ステーションサービス協議会

3月25日、会社回答受けるも席上妥結せず!!
組織内での議論を経て3月25日、苦渋の決断で妥結!!

- ・定期昇給実施 (昇給係数4)
- ・精算 2022年4月1日付で昇格する社員を除き、2022年6月23日以降準備でき次第

生活・労働実感のない会社回答に怒り!!

職場の声を受けて 緊急申し入れ提出!!

バス東北本部

3月30日、会社回答受けるも妥結せず!

組織内で議論

4月15日、申9号「組合員・家族の生活の維持・向上を実現し、人材流出を防ぐための2022年度賃金引上げ等に関する緊急申し入れ」を提出!!

【要求内容 (要旨)】

- ・2022年4月1日以降のJR東労組組合員の基本給(定期昇給を含まない)を引き上げること。
- ・2022年4月1日以降の契約社員の基本日額を引き上げること。
- ・人材の定着・確保に向け、早急に総合労働条件の改善を図ること。

二度と戦争をさせない決意を固める!

JR総連主催「沖縄平和研修」

4月9日～11日、JR総連「沖縄平和研修」へJR東労組として参加、1日目には辺野古アプト村・嘉数高台公園、2日目には第32軍司令部壕跡・ひめゆり平和祈念資料館・魂魂の塔・平和祈念公園・糸数塚、3日目には旧海軍司令部壕を踏査しました。

改めて沖縄の地で学ぶ!

日本で唯一の地上戦があった沖縄の地に立つことで、戦争の悲惨さを目の当たりにし、現地の方々から貴重な話を直接聞くことで、過去の歴史を体験することができました。戦争により犠牲になるのは私たち労働者・女性・高齢者・子供であり、戦争が始まるどころに人権はなく、軍隊は決して住民を守らないこと、命が物凄く軽く扱われるという悲惨さを改めて学びました。また、辺野古の現実を見て、基地建設等に現地の方々がどれだけ反対の民意を突き付けても変わらない現状を聞き、日本が戦争への道を歩み続けていることを痛感しました。

過去を学んだ私たちは何をすべきか?

意見交換の中では、参加したJR総連の各単組の仲間から実際に現地に訪れた感想や、今回の研修で学んだことを語り広める決意が述べられました。そして今研修で育んだJR総連の仲間たちとの連帯をさらに発展させ、安心して暮らせる未来のために一人ひとりが実践していくことを参加者全員で確認しました。

現在、ウクライナとロシアの国家間の戦争によって、多くの労働者・女性・高齢者・子どもたちの尊い命が奪われ続けています。そのような中で、戦争に反対の立場を明確にし、過去の歴史に学び、戦争に備えるのではなく、戦争を絶対に起こさせないために一人ひとりが考え、行動する必要があります。戦争が起きてからは平和を求めることはできません。だからこそ今、平和について考え、学び、広め訴えていく必要があることを研修の中で一致してきました。過去を学び、今後岸田政権が目指す改憲にNO!をつきつける重要性を学びました。



東日本大震災・原発事故から改めて学ぶ!

JR東労組中央本部・南相馬現地踏査行動

4月16日、JR東労組中央本部は福島において東日本大震災現地踏査行動を行いました。水戸地本・岩橋副委員長にガイドを担っていただき、東京電力廃炉資料館、東日本大震災・原子力災害伝承館の踏査行動、東日本大震災で亡くなった組合員の慰霊碑に献花しました。

反省といいつつ原発をやめない経営姿勢

東京電力廃炉記念館は福島第一原発事故の原因と背後要因、事故当時の状況や廃炉作業について説明する施設です。東京電力が作成したDVDには原発事故の背後要因について「おごりと過信」があったと説明していました。しかし、原発事故で避難した住民の苦勞や放射能被害については説明されず、今後、反省にもとづいて原発を止めるということは一切語られませんでした。

一方、東日本大震災・原子力災害伝承館は津波被害や原発事故の状況、放射能被害や風評被害によるいじめの辛さなど、住民に寄り添った展示がされており、いのちの大切さと原子力災害の恐ろしさを実感しました。

現地踏査行動で学んだこと

原発事故により、多くの住民が避難を余儀なくされ、先の見えない生活を強いられるおり、現在も仮設住宅で暮らす人々がいます。現在、ロシアによるウクライナ侵攻も同様で、罪のないウクライナ市民は避難を余儀なくされています。企業犯罪や戦争で犠牲になるのは常に市民や労働者であること、原発は私たちの「いのち」を脅かすもので、原発のない社会の実現が必要であることを参加者全員で確認しました。JR東労組は、「いのち」の大切さを、安心して暮らせる社会について、今後も議論を深めていきます。



JR東労組ボウリング部 「第13回ボウリング大会」

とき 2022年6月27日(月)
 ところ 仙台プレイボウリング
 スケジュール 会場集合 12:00
 ゲーム 12:14～14:30
 総会・表彰式 15:00～
 参加費 一人4,000円
 締め切り 6月10日(金)



・詳細については、本部・各地本へお問い合わせ下さい。